

verification service

第12期 年次報告書

2012年4月1日~2013年3月31日



株式会社 ベリサーブ

第12期 決算ご報告にあたって

謹 啓

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度の6月21日付けにて、代表取締役社長に就任いたしました新堀義之です。社長就任にあたり株主の皆様にご挨拶申し上げます。

当社は、2001年7月に旧CSK(現在のSCSK株式会社)の一部門が分離、独立した企業であります。前社長の浅井による「検証事業を産業にしたい」との思いから

事業拡大に邁進してまいりました。今後、会長と共に社業を拡大していく所存でございます。

日本経済は、東日本大震災からの復興活動や政権交代による景気浮揚策が奏功し、徐々に回復基調に向かっております。しかしながら、家電製品や通信機器など日本が得意とされてきた分野では、新興国企業が急速に成長し、競争は日本国内に止まらず、世界的な競争の最中にあります。こうした中で当社は、様々な製品に搭載される

ソフトウェアの検証業務を行っており、一般製品に組み込まれるソフトをはじめとしたものから、ECサイトや金融機関などで利用されるソフトウェアなどに拡がりを見せております。こうした様々な製品やシステムに搭載されるソフトウェアが安心して、安全に使えるように、お客様のものづくりを支援していくことで、当社事業を拡大していきたいと考えております。

今般の期末配当につきましては、1株当たり1,500円の配当となり、中間配当 1株当たり1,000円と合わせますと、年間配当は、1株当たり2,500円の配当となります。

また、この度より株主優待制度を実施することとなりました。今回は、昨年の中間分と合わせて実施させていただきます。当年次報告書とともに株主優待の品をお送り申し上げます。株主の皆様には、引き続き、当社事業活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白



代表取締役社長
新堀 義之

当期の概況

Review of Operations

当連結会計年度におけるわが国経済は、上期には東日本大震災後の復興需要等による景気のでこ入れが進むものの、新興国の成長に支えられた世界経済の減速感が出てきたことや、欧州・中国等の経済環境の不確実性が増し、先行き不透明な状況が続きました。

一方、下期には政権交代とともに、デフレ脱却に向け、金融緩和をはじめとした大胆な経済政策・財政運営に対する期待などから景況感はいよいよ明るい兆しが見え始めています。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、当社グループの顧客である製造業では、行き過ぎた円高水準が是正されたことにより改善傾向にあります。国際的な競争は引き続き厳しい状況にあるといえます。

また、グローバル化の動きは、中国との関係悪化により、製造業では他の新興国を含めた動きへと変化しつつあり、

売上高

5,571 百万円

前連結会計年度比0.1%増

営業利益

353 百万円

前連結会計年度比43.5%増

経常利益

327 百万円

前連結会計年度比22.4%増

当期純利益

149 百万円

前連結会計年度比317.3%増

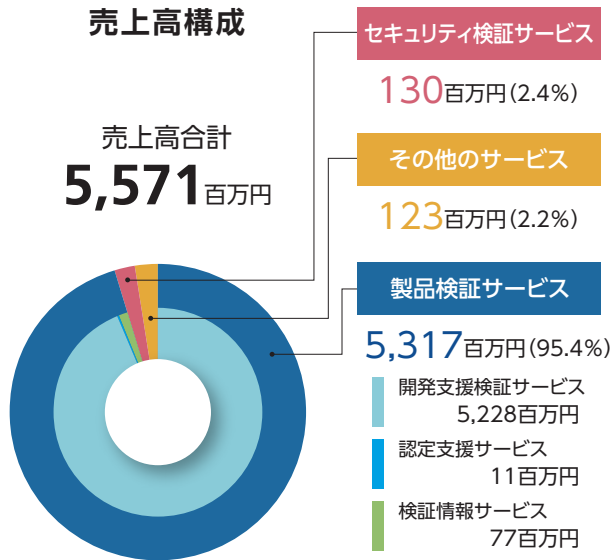
より広範なグローバル化を見せています。

このような動向の中で引き続き、研究開発から生産、販売にいたるサプライチェーンのグローバル化へと拡大していくように見受けられます。

当社グループでは、従前より、ソフトウェアテスト・検証業務におけるコスト削減のための施策を進めるために、フルライン検証サービスや上流工程での検証業務、製品テスト工程での自動化などの提案を進めております。

検証対象製品別では、薄型テレビやAV機器等を中心としたデジタル家電では厳しい環境が続いておりますが、自動車関連分野などでは、徐々に新たな製品開発が増加してきております。

また、海外においては、製品仕向地でのフィールドテストなどの検証業務を実施し、顧客のグローバル化への支援を行っております。中国に設立した百力服軟件測試(上海)



※ ()内構成比率

有限公司では顧客に対応したサービスを提供しており、単体での採算ラインが見えてくる状況となってまいりました。

他方、様々な製品で構成されるコンシューマ製品では、今後、多種多様な機器との接続性テストが必要となります。こうした「相互接続性の検証業務」についても先行投資を行い、新たな事業環境の整備に努めております。

以上のような事業活動の結果、当連結会計年度の連結売上高は、5,571,846千円(前連結会計年度比0.1%増)、連結営業利益は要員の稼働率向上や外注費の最適化など労務費のきめ細かい管理を行った結果、353,529千円(同43.5%増)となりました。一方、56,241千円の持分法による投資損失を計上し、連結経常利益は327,160千円(同22.4%増)、連結当期純利益は149,275千円(同317.3%増)となりました。



トピックス

株主優待制度の新設

昨年、10周年記念の株主優待を実施いたしました
が、継続的な株主優待へのご要望などもあり、当社
では、株主の皆様からいただくご支援への御礼とともに、
当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの皆様
に当社株式を保有していただくことを目的に今回、株
主優待制度を新設いたします。

(注) 当社は、2013年10月1日より当社株式の分割(1株→100株)及
び単元株制度を採用し、売買単位が1株単位から100株単位に
変更されます。株主優待につきましても来年3月31日基準の株
主優待は、100株以上保有されている株主の方に変更されます
ので、ご注意下さいますようお願い申し上げます。

※ 2013年9月30日基準の株主優待は、従来どおりの基準です。なお、金融商品取引所における
2013年9月30日基準の最終売買日は2013年9月25日となりますので、ご注意下さい。

■対象となる株主

毎年9月30日、3月31日現在の株主名簿及び実質株主
名簿に記載されている1株以上(注)を保有されている株主の方。

■株主優待の内容

当社は、検証サービスという業務上の性質から、株主の皆様
にご優待できる商品等を取り扱っておりませんので、1株以
上(注)の当社株式を保有されている株主様に対して、一律QUO
カード(クオカード)500円分を贈呈させていただきます。

なお、平成25年3月期に限りましては、中間分とあわせて、
期末に1,000円分のQUOカード(クオカード)を贈呈させていた
だきます。

JCV子どもの笑顔プロジェクト 寄付つきQUOカード
(1枚につき50円の寄付)



連結財務諸表

Financial Statements

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2013年3月31日現在)	前連結会計年度 (2012年3月31日現在)		当連結会計年度 (2013年3月31日現在)	前連結会計年度 (2012年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	4,985,266	4,816,980	流動負債	690,588	530,583
固定資産	595,554	489,526	固定負債	172,170	154,107
有形固定資産	63,148	69,283	負債合計	862,758	684,691
無形固定資産	204,419	166,773	純資産の部		
投資その他の資産	327,985	253,468	株主資本	4,718,667	4,626,776
			資本金	792,102	792,102
			資本剰余金	775,852	775,852
			利益剰余金	3,150,712	3,058,821
			その他の包括利益累計額	△ 605	△ 4,960
			純資産合計	4,718,062	4,621,815
資産合計	5,580,821	5,306,506	負債純資産合計	5,580,821	5,306,506

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2012年4月1日~2013年3月31日)	前連結会計年度 (2011年4月1日~2012年3月31日)
売上高	5,571,846	5,566,894
売上原価	3,926,289	3,928,082
売上総利益	1,645,557	1,638,811
販売費及び一般管理費	1,292,027	1,392,378
営業利益	353,529	246,433
営業外収益	32,539	30,318
営業外費用	58,908	9,549
経常利益	327,160	267,203
特別利益	32	—
特別損失	244	128,121
税金等調整前当期純利益	326,948	139,081
法人税、住民税及び事業税	210,922	116,109
法人税等調整額	△ 33,249	△ 12,799
少数株主損益調整前当期純利益	149,275	35,772
当期純利益	149,275	35,772
その他の包括利益合計	12,181	35
包括利益	161,456	35,807

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2012年4月1日~2013年3月31日)	前連結会計年度 (2011年4月1日~2012年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	470,801	42,150
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 235,034	△ 42,852
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 65,569	△ 65,444
現金及び現金同等物に係る 換算差額	4,698	△ 2,539
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	174,896	△ 68,685
現金及び現金同等物の 期首残高	3,704,724	3,740,104
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	33,304
現金及び現金同等物の 期末残高	3,879,621	3,704,724

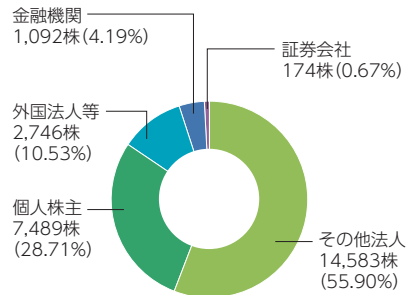
(注)各計算書類の記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

Stock Information

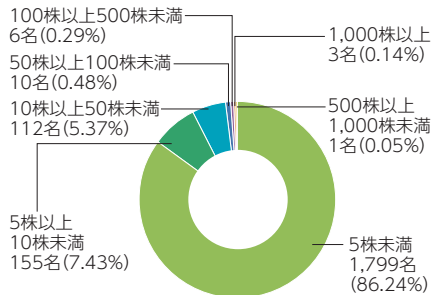
株式の状況 (2013年3月末現在)

発行可能株式総数	64,000株
発行済株式総数	26,084株
株主数	2,086名

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



第12期の 期末配当について

安定的かつ継続的な配当を行いつつ、経営基盤の確保ならびに今後の事業展開などの内部留保を勘案し、当期末配当は下記のように実施いたします。

1株当たり

1,500円

配当総額

39,126千円

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
SCSK株式会社	14,500	55.59
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー505224	2,500	9.58
ベリサーブ従業員持株会	1,377	5.28
浅井 清孝	531	2.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	375	1.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	134	0.51
加藤 一夫	130	0.50
小澤 裕紀	110	0.42
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASH PB)	101	0.39
高橋 豊	101	0.39

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人の事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】 証券会社の口座をご利用の株主様は三井住友信託銀行株式会社ではお手続きできませんので、取引証券会社へご照会下さい。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡下さい。	
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告アドレス: http://www.veriserve.co.jp/ir/epn/
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券・銘柄コード	3724

会社概要 (2013年3月末現在)

商号	株式会社 ベリサーブ VeriServe Corporation
本社所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
代表電話	03-5909-5700
設立	2001年7月24日
資本金	792百万円
従業員数	483名(連結)、453名(単体)
事業内容	製品検証サービス: IT関連製品(ハードウエア、ソフトウエア)のシステム検証 セキュリティ検証サービス: ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証 その他のサービス
ホームページ	http://www.veriserve.co.jp/